

〔討論〕 沖本

議長のお許しをいただきましたので、ざま大志会を代表し、ただいま上程された陳情を除く議案第37号から議案第40号に賛成の立場を明らかにし、議案第37号、令和3年度座間市一般会計補正予算（第2号）と議案第38号、座間市都市公園条例の一部を改正する条例について、ざま大志会の見解を述べながら討論を行います。

初めに、議案第37号、令和3年度座間市一般会計補正予算（第2号）から、市民部所管、戸籍住民基本台帳関係システム事業費1,021万4,000円は、個人番号カードの交付事業を円滑に進めるため、個人番号カード交付事務における進捗状況を管理する機能を住民基本台帳システムに追加するための増額措置のことであります。この機能追加により、事務の効率化、窓口での市民サービスの向上や職員の負担軽減が図れることであり、大いに評価をするものです。

また、予算決算常任委員会都市環境分科会では、機能追加の考えに至った経緯として、「本市が現在使用しているシステムは中規模仕様のシステムであり、もともと個人番号カードの交付事務における進捗状況を管理する機能は備えていなかったが、大規模都市用のシステムには既に備えられている機能であることを当局としては認識していた。業務の効率化を図るためにもこうした機能を何とか本市のシステムに導入できないかシステム業者へ相談していたところ、本年2月に個人番号カード交付事務補助金要綱が改正され、この個人番号カード交付管理システムも補助対象になりました。また、事業者により中規模都市用システムへの追加機能の開発を始めたとの情報を得たことから、ぜひ導入いたしたく、補正をお願いするものです」との説明がありました。常日頃から情報収集に努められ、業務改善を図ろうとする積極的な意識も評価し、賛意を表します。

次に、環境経済部所管、信用保証料一部補助事業費288万8,000円は、新型コロナウイルス感染症に対する中小企業者への神奈川県等の金融施策の軽減措置の見直しに伴う増額措置とのことでした。

この事業は、神奈川県新型コロナウイルス感染症特別対策分の軽減措置が本年3月31日で終了することから、本市として令和2年度から実施している継続事業として、市がその分を補助の限度内で負担していくための補正予算措置であり、市内業者への資金繰りに係る諸経費の負担軽減を引き続き図るというものであり、高く評価できる事業だと考えております。

また、予算決算常任委員会都市環境分科会では、「新型コロナウイルス感染症の想定を超える事態に国や県は支援措置を拡充したことにより、事業者の金融諸経費に係る負担の多くをゼロとしました。このことを踏まえ、令和3年度も同様の措置が継続されるものと判断したほか、当該コロナ特別対策分に係る融資が下半期以降、急激に減少したことなどから、当初予算には計上しませんでした。令和3年2月15日に県より当該コロナ特別対策分融資に係る諸経費の拡充措置を令和3年度以降見直すという通知が発出されたことから、いまだに経営活動が不安定な状況にある事業者に対し、市として支援を継続していくため、迅速な対応をする必要に鑑み、本定例会で補正をお願いするものです」との詳細な説明もありました。市内事業者に寄り添った当局の姿勢と対応を大いに評価し、賛意を表します。

次に、都市部所管、議案第38号、座間市都市公園条例の一部を改正する条例について。

改正の概要は、「これまで本市の都市公園の管理運営では、公園管理者である本市以外の者による公園施設の設置管理許可の想定がなかったため、使用料を定めるに至りませんでした。しかし、今後の都市公園における多様な管理運営手法を検討し、適切な当該管理運営手法を導入するため、公園管

理者以外の者による公園施設の設置等に係る使用料を定めます」とのことでした。

さきの総括質疑では、条例改正の意図と多様な管理運営手法について問われ、「都市公園において、公園管理者以外の者による管理運営手法を検討する環境を整える。都市公園の管理運営においては、公園施設の充実や利用者の利便性向上が期待され、民間の活用など、それぞれの都市公園の特徴に応じて管理運営手法を選択できる可能性がある」と判断している」と示されています。将来的にも起こり得る行政の公園経営という観点から、高く評価できるものと考えます。

また、総括質疑や委員会での質疑で問われた公園駐車場の有料化について、ざま大志会としては、市内外から多くの方が訪れるような魅力的な公園が形成されるのであれば、公園経営として利益者負担は当然であろうと考えます。

当局の考え、本条例改正を大いに評価し、賛意を表します。

ざま大志会としては、このほかの諸議案についても賛意を表し、議員諸氏におかれましてはご賛同いただきますよう、壇上から呼びかけたいと存じます。

最後に、要望として申し上げます。今定例会に提出された補正予算には、新型コロナウイルスワクチン接種に係る市民に寄り添った本市独自の事業が何一つ示されなかったことに憤りを感じております。この後、議員提出議案の提案説明でも申し上げますが、「誰一人残さず、幸せを感じられる社会の構築を進めることが政治の果たす役割、役目である」と所信表明で述べられた佐藤市長の政治力を今こそ広く市民に対して示されるよう強く・強く望んでいることを申し上げ、以上でざま大志会を代表しての賛成討論並びに要望とさせていただきます。（拍手）